



写真-1 元川左岸から対岸の畳堤を撮影（平成29年9月）

■ 苅屋地区の畳堤

上の写真-1は、揖保川の派川・元川に架かる元川橋の右岸下流側に設置された「畳堤」です。ここたつの市御津町苅屋地区の畳堤は延長159mで、『ひょうご水百景』No.89で述べた通り炭素繊維シートにより補強されていますが、仕上げは龍野町や正條のような「黒っぽい色」ではなく「白」に着色されています。

■ 室津道の南側に広がる苅屋地区の街並み

写真-2は、昭和22（1947）年に米軍が撮影した航空写真で、図-1は明治30（1897）年頃の室津道および苅屋地区周辺の地図です。これらを見ると、苅屋地区は元川の西にあって、姫路と室津を結ぶ「室津道」の南側に人家が広がっていますが、北側はほとんど人家が見当たりません。

苅屋地区の畳堤に関しては、人家が張りついている区間を、住民と協議の上で畳堤にしたものと思われれます。

「たつの市水防計画」によると、苅屋地区の畳の必要数は63枚、これに対して保管している畳（古畳）は、御津総合支所の67枚で、必要数は確保されています。



写真-2 揖保川下流の状況

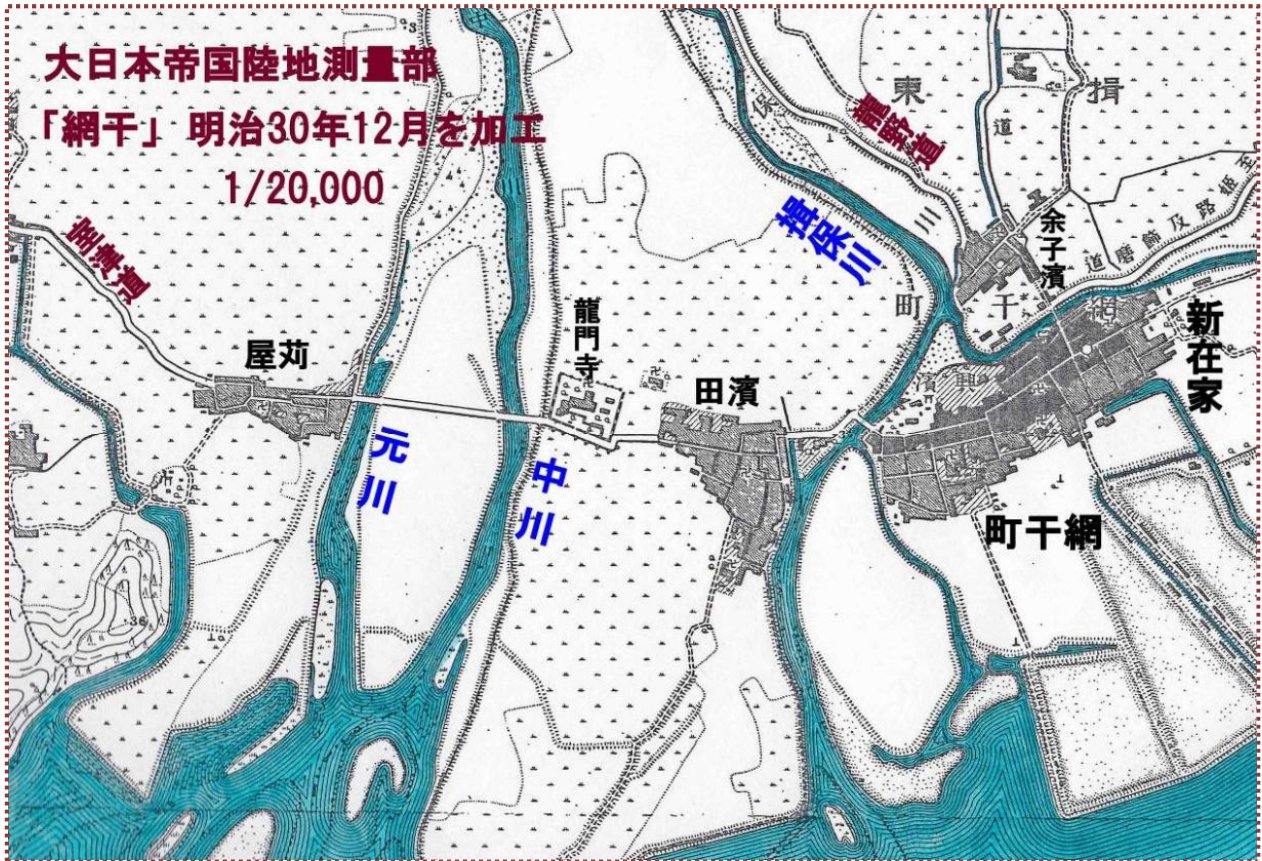


図-1 明治30年頃の室津道および苅屋周辺の地図

室津は奈良時代の僧・行基が開いたといわれる「摂播五泊」の一つで、『播磨国風土記』に「コノ泊、風ヲ防グコト室ノゴトシ 故ニ因リテ名ヲナス」と記されているように三方を山に囲まれた天然の良港でした。

古くから港町として栄えましたが、江戸時代に参勤交代が制度化されると、多くの西国大名が船旅の起終点としたため、「室津千軒」と呼ばれるほど繁栄しました。

姫路藩の飛び地であった室津と姫路城下を結んだのが室津道ですが、堀保川を渡るのに、北路と南路があったようです。

魚吹八幡神社の門前を通るのが北路、龍門寺の門前を通るのが南路で、苅屋地区は南路沿いにあります。

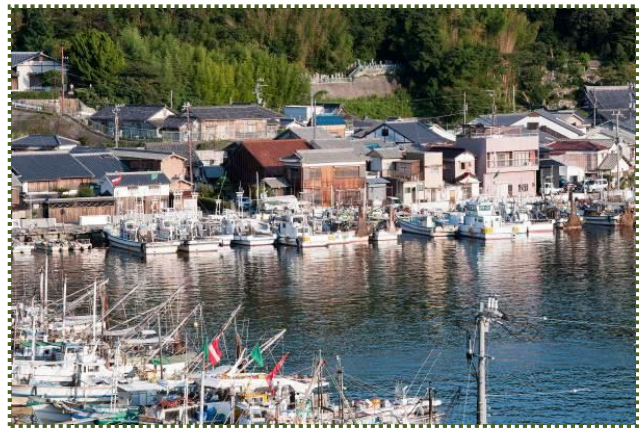


写真-3 室津漁港



写真-4 旧室津道沿いの苅屋の街並み



写真-5 苅屋会館前の道標



写真-6 道標

写真-4 は、苅屋地区の旧室津道沿いの街並みです。苅屋会館前などに道標が立ち、どこことなく昔の街道の風情が感じられます。

写真-5・6 の 2 基の道標はいずれも慶應 4 (1868) 年辰 3 月に建之されたもので、「左 ひめぢ道 右 むろ津道」と刻まれています。

■ 苅屋地区の東を流れる元川沿いに畳堤

写真-8 や写真-9 を見ると、狭い道路を隔てて人家が連坦しているのがよくわかります。この連坦する人家の前だけが、畳堤になっています。苅屋地区の場合は、通過交通を気にする必要はなく、延長もわずかなので、それほど問題はないように思いますが、地域住民の高齢化が不安材料かな。

幸い、苅屋地区の畳堤も、龍野町地区と同様に設置以降未だ畳が差し込まれたことはありません。



写真-7 元川左岸から右岸の畳堤を撮影

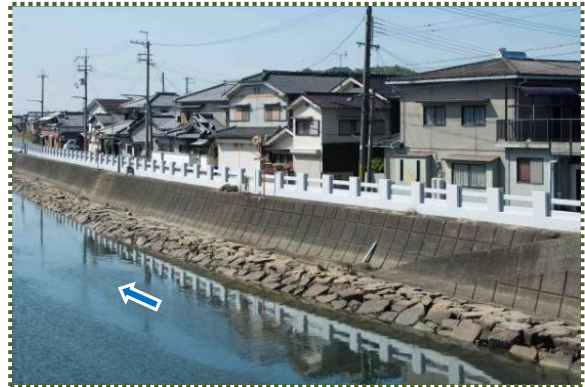


写真-8 元川橋から右岸の畳堤を撮影

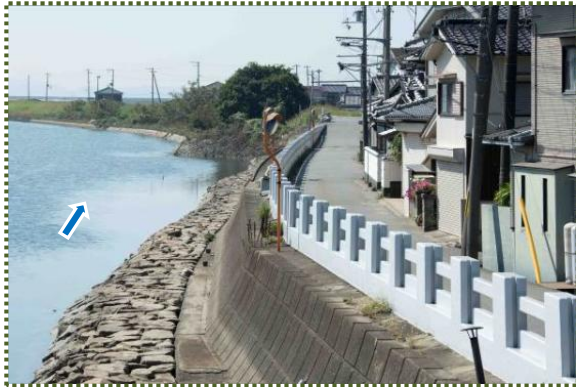


写真-9 元川橋から右岸の畳堤を撮影



写真-10 元川橋下流から畳堤を撮影

また、元川橋と上流の国道 250 号・新元川橋との間に設置された特殊堤は、畳堤ではなく通常のパラペット形式です。

これは、今でこそ写真-11 のように護岸沿いに人家が張り付いていますが、写真-2 の昭和 22 (1947) 年頃は、旧室津道より上流に人家がほとんどなかったことからパラペット形式にしたと思われます。



写真-11 元川橋から右岸上流のパラペット堤を撮影



図-2 たつの市御津町苅屋地区の畳堤位置図

■ 全国に3ヶ所しか現存していない「畳堤」

このような特殊な構造をした「畳堤」は、全国でも以下の3ヶ所しか現存していません。

- ① 宮崎県延岡市の五ヶ瀬川河口付近 (L=980m) 昭和初期竣工
わが国初の畳堤、延岡市の「歴史・文化遺産」、土木学会選奨土木遺産 (平成27年度認定)
- ② 岐阜県岐阜市忠節町沿いの木曾川水系長良川左岸 (忠節橋から金華橋間 L=900m) 昭和13 (1938) 年竣工
- ③ 兵庫県たつの市の揖保川とその派川・元川 (3ヶ所 L=3.1km) 昭和24 (1949) 年～32 (1957) 年に築造
土木学会選奨土木遺産 (令和4年度認定)

■ モノローグ

畳堤に畳を差し込む作業は、畳堤設置の経緯から自主防災組織が担っていますが、夜間、激しい雨が降る中で、畳や土のうを運搬・設置するといった過酷な作業は、本来水防団 (兵庫県では消防団) が担うべきもので、避難誘導や避難所の運営などを担う自主防災組織が行うには無理があるように思います。

特に、龍野町地区では国道や県道を通行規制しながら 1,327 枚の畳を短時間で差し込まなければなりません。加えて、国道179号は緊急輸送道路であることから通行規制そのものに問題があります。

畳堤のあり方について見直す時期がきているように思います。少なくとも、緊急輸送道路沿いの畳堤は何とかならないと……。

【参考資料】

- 1 『播磨古道』 姫路市市長公室企画政策推進室 平成28年3月
- 2 『揖保川水系河川整備計画 (国管理区間)』 近畿地方整備局 平成25年7月
- 3 『たつの市水防計画』 たつの市防災会議 平成30年5月
- 4 『室津、江戸間』 フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

※発行：平成30 (2018) 年12月 『ひょうご水百景』 No.91

改訂：令和8 (2026) 年5月 『ひょうご水百景』 No.91-1